令和5年7月11日（火）付、上毛新聞に掲載されました！
～絵本『パパの柿の木』読み聞かせ講演会～

「毎日大切に生きて」

御巣鷹遺族 谷口さん 小学校で読み聞かせ

藤岡

乗客乗員520人が犠牲となった日航ジャンボ機墜落事故で夫を亡くした大阪府箕面市の谷口真知子さん(75)による自作絵本の読み聞かせ会が10日、藤岡美九里東小と美九里西小で開かれた。谷口さんが児童や地元住民ら計約200人を前に絵本を朗読し、歌手の北川たつやさん(37)が絵本を基にした歌を披露した。

「考えてみてください。何げない日々が突然失われるかもしれないことを」。朗読を終えた谷口さんは、夫の正勝さん＝当時(40)＝との思い出や失った悲しみを振り返り「毎日を大切に生きようとしてほしい」と呼びかけた。

絵本は悲しみに暮れる家族が、正勝さんが生前に植えた柿の木に励まされ生きていく物語。冬の間は枯れたように見える木から、春になると光が注ぎ新芽が生えてくる描写がある。谷口さんは、「頑張って生きていればいつか笑顔になれる日が来る。柿の木がそう教えてくれた」と語った。

2校とも家族から事故の話を聞き、授業で学んでいる児童が多い。谷口さんは「群馬の子どもたちは真意を受け止め、深く理解してくれた。来年は警察や消防の方たちにお礼を伝えたい。その思いがより強くなった」と話した。

（飯島礼）

自作の絵本を読み聞かせる谷口さん（右）

町北遺跡

市長「歴史ひもとく契機」

30日に現地説明会

と掘立柱建物（全長約27㍍、幅約7・5㍍）で、近くの穴から8世紀前半ごろの瓦が大量に見つかった。

建物跡について、岩井市長は「建物の造りや配置から税などを納めるための正倉と呼ばれる倉庫だった可能性が高い」と指摘。その上で、付近が飛鳥、奈良時代の碓氷郡家の推定地であることから、郡家に関連した公的施設との見方を明らかにした。

県埋蔵文化財調査事業団の神谷佳明さん(68)は「碓氷郡家の全体像解明の一助となる」と指摘。正倉は郡の中心的な場所に格式高く配置することが多いとして、「碓氷郡家の中心的な場所を割り出すことに役立つ」と説明する。

30日の現地説明会は午前と午後に計4回開く。申し込みは当日に受け付ける。問い合わせは同市文化財課（☎027・382・7622）へ。

（宮崎秀貴、北沢彩）

東山道駅路と公的施設とみられる遺構が見つかった町北遺跡